

第 120 回くすり勉強会 共催：臨床評価刊行会

国際共同研究の倫理：ブラジルからの視座

2019 年 12 月 8 日（日）10:00-12:00 京王プラザホテル「42 階 津久井」

<https://www.keioplaza.co.jp/>

Minas Gerais 連邦大学（ブラジル）名誉教授（感染症・生命倫理学）Dirceu Greco 医師は、ブラジル生命倫理学会長（2019-2021）であり、CIOMS 倫理指針 2016 年版¹⁾の作業部会メンバーとして改訂作業に重要な役割を果たした。氏は、1980～90 年代の HIV/AIDS 危機の際、ブラジルで HIV 感染者やそのリスクのある人々の治療にあたり、AIDS ワクチン早期臨床試験の責任医師を務めた。その後ブラジル AID 対策プログラム（2010-2013）を指揮し、HIV/AIDS 予防・治療の国家的政策立案にも参画した。1990 年代から 2000 年代の「ヘルシンキ宣言」改訂、生命倫理と HIV/AIDS に関する UNAIDS/WHO ガイドラインに関する国際的な論争に直接関与し、開発途上国のための国際共同臨床試験についての倫理の確立に向けて大きく寄与した。

今回の研究会では、日本臨床薬理学会の国際シンポジウムに氏をお招きしたのを機に、ブラジルの思想家パブロ・フレイレの「被抑圧者の教育学」や、同国のコンパルソリーライセンスを活用して医薬品を必要とする人々のアクセスを確保しようとする政策をめぐる議論、南米における生命倫理の思想との関係など、生命倫理と研究倫理の本質を掘り下げる議論を深める。

使用言語は原則として英語。齊尾武郎・栗原千絵子は導入としての発表 and/or 解説を参加者の状況に応じて日本語 and/or 英語で行う。

参加費：3,000 円・事前申込必須

下記にお名前・お仕事・連絡先メールアドレスを記載の上、事前にお申込みください。

小さな会場なので、満席になり次第締切ります。

chieko.kurihara@nifty.ne.jp

企画者：栗原千絵子

* 公式に Dirceu Greco 先生をお招きしている臨床薬理学会セッションにもぜひご参加ください。

（2019 年 12 月 4 日公式シンポジウム、5 日ラウンドテーブルディスカッション）

<http://cont.o.oo7.jp/47sup36/p147-9.pdf>

1) Council for International Organizations of Medical Sciences. International ethical guidelines for health-related research involving humans. 2016. Available from:

<https://cioms.ch/shop/product/international-ethical-guidelines-for-health-related-research-involving-humans/>

（日本語訳）

<https://cioms.ch/wp-content/uploads/2019/07/Japanese-Translation-CIOMS-Ethical-Guidelines-2016.pdf>